

ステージ	項目	概要	時間数・コマ数	形式	要件	備考
ステージⅠ： 愛媛県および南予地域の現状と課題を知る	1) プログラムの概要と地域創生の考え方	愛媛大学地域協働推進機構機構長の講義	1.5時間/コマ×1コマ =1.5時間	対面	18時間 (12コマ)	8/31(土)
	2) 課題の明確化手法・汎用スキル・フィールドワーク	南予センター教員・外部講演者による講義	1.5時間/コマ×7コマ =10.5時間	対面		8/31(土)・10/19(土)・11/3(日)
	3) 愛媛県及び南予地方の現状と課題の講義	専門家及び南予地域のステークホルダーによる講義・実習	1.5時間/コマ×4コマ =6時間	対面		9/7(土)・10/19(土)
	4) 専門知識の講義	兼任教員の講義動画	1.5時間/コマ	非同期型リモート	6時間 (4コマ)	選択科目(ステージⅠ) 左の講義題目から4題目以上を選択
	5) 愛媛県の現状と課題の講義	社会連携推進機構・地域連携コーディネーター・各省庁関連事務所による講義	1.5時間/コマ	非同期型リモート		
	6) 南予地域の現状と課題の講義	南予9市町の担当者による講義	1.5時間/コマ	非同期型リモート		
ステージⅡ： 問題解決の方法を学ぶ	1) 様々な分野の問題解決方法	令和6年度地域創生イノベーター育成プログラム(東予)の講義	1.5時間/コマ×29コマ	同期型リモート	24時間 (18コマ)	選択科目(ステージⅡ) ※地域創生イノベーター育成プログラム(東予) 開講科目を選択してオンライン受講
		シンポジウム、スキルアップ講座、市民講座等	1.5時間/コマ×8コマ (12時間)を上限とする	対面・同期型リモート		受講生は事前を受講するシンポジウム、講座等をプログラム運営責任者に連絡し、プログラムの目的に照らして適正かどうかの審査を受ける。
ステージⅢ： 身近な課題を解決する	1) ガイダンス	プロジェクトのガイダンス	1.5時間/コマ×3コマ =4.5時間	対面・リモート	4.5時間 (3コマ)	8/31(土)ガイダンス
	2) 中間発表	プロジェクトの中間発表	1.5時間/コマ×2コマ =3時間	対面・リモート	3時間 (2コマ)	11/17(日)中間発表会
	3) 成果発表	プロジェクトの成果発表	1.5時間/コマ×3コマ =4.5時間	対面・リモート	4.5時間 (3コマ)	2/1(土)成果発表
計					60時間	

令和6年度 愛媛大学地域創生イノベーター育成プログラム(南予)

必修科目(ステージⅠ、ステージⅢ)

ステージ	年	月	日	曜日	時限	科目名	講義題目	担当	受講方法	場所	備考
Ⅰ 愛媛県及び南予地域の現状と課題を知る	8	31	土	1	愛媛大学による地域創生の取り組み	愛媛大学のビジョン・戦略・取り組みについて	地域協働推進機構・機構長	杉森 正敏	対面	南予センター	・受講生各自で南予センターに集合
				2	地域課題の明確化手法	プログラムの履修ガイダンス(自らの成長につながるレポートの作成方法)	地域協働センター南予センター長	松村 暢彦			
				3	プロジェクト	プロジェクトのガイダンス	地域協働センター南予センター長、プロジェクト担当教員	松村暢彦 前田 眞			
						グループディスカッション	地域協働センター南予センター長、プロジェクト担当教員				
Ⅲ南予地域での課題解決の提案	9	7	土	1	プロジェクト	グループディスカッション	地域協働センター南予センター長、プロジェクト担当教員	松村暢彦 前田 眞 笠松 浩樹 大本 敬久	対面	南予センター	・受講生各自で南予センターに集合、午後から県歴博へ各自移動(現地解散)
				2	愛媛県及び南予地域の現状	災害の世代を生き抜く産官学民連携～全世代への防災教育～	地域レジリエンス学環准教授	芝 大輔			
				3		愛媛県内の災害史に関する講義	地域協働推進機構准教授	大本 敬久			
				4		愛媛の歴史と文化—愛媛県歴史文化博物館の展示案内—	地域協働推進機構准教授	大本 敬久			
Ⅰ 愛媛県及び南予地域の現状と課題を知る	10	19	土	1	地域課題の明確化手法	地域課題の抽出と明確化の方法	地域協働推進機構客員教授	前田 眞	対面	南予センター	・受講生各自で南予センターに集合
				2		ファシリテーションとグラフィックコーディング(1)	えひめの板書屋	岩下 紗矢香			
				3		ファシリテーションとグラフィックコーディング(2)	えひめの板書屋	岩下 紗矢香			
				4	愛媛県及び南予地域の現状	地域別人口推計をまちづくりに活かす	地域レジリエンス学環准教授	大久保 武			
Ⅲ南予地域での課題解決の提案	11	3	日	2	フィールドワーク(地域の文化資源の継承と活用)	吉田秋祭りの概要と継承の課題(講義)	地域協働推進機構准教授	大本 敬久	対面	吉田町	・受講生各自で吉田公民館に集合(現地解散)
				3		吉田秋祭りの現地調査(見学)及びふりかえり	地域協働推進機構准教授	大本 敬久			
				4		地域協働推進機構准教授	大本 敬久				
Ⅲ南予地域での課題解決の提案	11	17	日	2	プロジェクト	プロジェクト中間発表およびディスカッション(2コマ)	地域協働センター南予 松村暢彦、前田眞、笠松浩樹、大本 敬久 他	対面	南予センター	・受講生各自で南予センターに集合	
				3							
Ⅲ南予地域での課題解決の提案	令和7年	2	1	土	2	プロジェクト	プロジェクト成果発表およびディスカッション(2コマ)	地域協働センター南予 松村暢彦、前田眞、笠松浩樹、大本 敬久 他	対面	南予センター	・受講生各自で南予センターに集合
					3						
					4	プログラム振り返り	プログラムの振り返りワークショップ				

南予センター:地域協働センター南予
 県歴博:愛媛県歴史文化博物館
 吉田町

1限目	09:00～10:30
2限目	10:50～12:20
3限目	13:30～15:00
4限目	15:20～16:50

令和6年度 愛媛大学地域創生イノベーター育成プログラム(南予)

選択科目(ステージI)(以下の講義題目から4題目以上を選択)

ステージ	科目名	講義題目	担当	受講方法	場所	備考
	愛媛県の現状と課題	地域の課題の把握と解決に向けての手法と事例	地域協働推進機構・客員教授 前田 真	非同期	各自	受講生各自で、12月末日までに自由な時間視聴し、授業レポートを提出
		創業・スタートアップ支援/SDGs経営/カーボンニュートラル/RESASについて	経済産業省四国経済産業局 地域経済部新事業推進課新規事業係 総務企画部企画調査課課長補佐 資源エネルギー環境部資源エネルギー環境課環境係長 総務企画部企画調査課RESAS普及活用支援調査員 大坪 加奈 石山 武志 大谷 寛 坂口 祐			
		最近の経済情勢について	財務省四国財務局総務部経済調査課長 財務省四国財務局松山財務事務所長 矢野 秀典 宮本 克久			
		食料・農業・農村をめぐる情勢及びみどりの食料システム戦略2020年農林業センサス結果の概要(愛媛県)	農林水産省中国四国農政局愛媛県拠点(愛媛支局) 総括農政推進官 総括統計専門官 田中 勝利 松田 公夫			
	南予地域の現状と課題	愛媛県の人口減少の現状と南予の地域課題への対応について	愛媛県南予地方局地域政策課 課長他関係職員			
		きらめくおおず 官民連携の観光まちづくり	大洲市総合政策部企画情報課 課長 大洲市商工観光部 部長 矢野 雅之 武田 康秀			
		八幡浜市の概況・課題について 八幡浜市の農業振興の取り組みについて 八幡浜市ふるさと観光公社の取組紹介	八幡浜市政策推進課地方創生係長 八幡浜市農林課 課長補佐 八幡浜市ふるさと観光公社 徳田 翔士 中井 崇滋 松浦 宏昭			
		「宇和島市のDX推進とシティブランディング」 ～宇和島市電子地域ポイント(RUC POINT)の紹介ほか～	宇和島市デジタル推進課 宇和島市市長公室 ほか 関係職員			
		ジオパークを活用した西予市のまちづくり 地域と行政が協働して取り組む地域づくり	四国西予ジオミュージアム館長 西予市まちづくり推進課 地域づくり活動センター推進室係長 高橋 司 三好 祐介			
		内子町の現状と課題	内子町森林組合 参事 大鍋 直幸			
		伊方町の人口減少対策について	伊方町総合政策課まちづくり・DX政策係 塩見 和孝 米澤 光平			
		「鬼の町」が取り組むこれからのまちづくり 鬼北町における地域脱炭素社会への取り組みについて 林業施策と有害鳥獣対策について 鬼のまちづくりについて 高血圧ワーストワンからの脱出 デジタル技術を活用した交通弱者対策と商工振興施策への展開について 近永駅周辺賑わい創出プロジェクトについて 文化財を活用したまちづくり	鬼北町企画振興課 課長 鬼北町環境保全課 鬼北町農林課 鬼北町企画振興課 鬼北町保健介護課 鬼北町企画振興課 鬼北町企画振興課 係長 鬼北町教育課 係長 二宮 浩 山下 勝弘 楠目 匠 毛利 竜一郎 松浦 崇輝 伊手 信介 中川 博之 幅上 敬一			
		松野町の現状と課題	松野町ふるさと創生課 課長 井上 靖			
		愛南町の現状と課題	愛南町企画財政課政策推進室主幹 好岡 英樹			

令和6年度 愛媛大学地域創生イノベーター育成プログラム(南予)

選択科目(ステージⅡ) ※地域創生イノベーター育成プログラム(東予) 開講科目を選択してオンライン受講 など

ステージ	年	月	日	曜日	時限	科目名	講義題目	担当	受講方法			
Ⅱ 問題解決の方法を学ぶ	令和6年	9	21	土	3	SDGsの推進に向けて	SDGsの概要と意義	愛媛大学 SDGs推進室 副室長	小林 修	同期型(オンライン受講)		
					4		HOTEL WHYから学ぶサステイナブルな社会	㈱BIG EYE COMPANY・Chief Environmental Officer(CEO)	大塚 桃奈			
		9	28	土	1	変動する社会 -DX・カーボンニュートラル・レジリエンス-	地域と連携した「防災」と「まちづくり」の担い手育成	愛媛大学 防災情報研究センター長	NETRA Prakash Bhandary			
					2		新しい働き方の創造と未来社会	総務省 地域情報化アドバイザー / 地域力創造アドバイザー	加藤 遼			
					3		持続可能な地域経済社会(RX)の実現に向けて	四国経済産業局 地域経済部長	熊野 哲也			
					4		Town&Gownの推進と未来社会の構築	広島大学 理事 (Town&Gown Office 室長)	金子 慎治			
		5	土	2	科学技術における インクルージョン	多様な知識が共創する「地域レジリエンス学環」入学のすすめ	愛媛大学 地域レジリエンス学環 副学環長	森脇 亮				
				3		イノベーションマッチングと人材創出	島根大学地域未来協創本部 産学連携部門 准教授	服部 大輔				
				4		愛媛大学における産学民官連携の動向とプロジェクトマネジメント	愛媛大学 産学連携推進センター リサーチファンド獲得支援 部門長	入野 和朗				
		10	12	土	海事・ グリーンイノベーション を巡る動向	1	新たな海洋・海事の国際的拠点創出に向けて	(公財)笹川平和財団 海洋政策研究所 主任研究員	小森 雄太			
						2	未定(グリーンイノベーション)	未定	(人選未定)			
						3	海洋科学掘削で探る地球の深部	海洋研究開発機構(JAMSTEC) 主任研究員	阿部 なつ江			
						4	瀬戸内海を活用したクルーズ展開	瀬戸内海汽船(株) 代表取締役 社長	仁田 一郎			
			26	土		1	地域循環共生圏の構築及び脱炭素先行地域の選定動向	環境省中国四国地方環境事務所 環境対策課	(人選未定)			
						2	海事業界を取り巻く環境と海事行政の取り組み	国土交通省 四国運輸局長	河野 順			
						3	カーボンニュートラルに向けたエネルギー科学技術	九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 副所長	松本 広重			
						4	地域洋上風力発電の展望	秋田洋上風力発電(株) 総務人事部長	牛丸 広大			
		11	2	土	地域資源活用の ダイナミクス	1	神山まるごと高専の開校	学校法人神山学園 理事 (NPO法人グリーンバレー理事)	大南 信也			
						2	地域連携におけるアートマネジメントの活用	鳥取大学 地域価値創造研究機構 地域創生教育推進 室長	石田 陽介			
						3	伯方島を中心とした「しまなみ未来地域づくり」(仮称)	(公財)えひめ地域活力創造センター(※他法人の可能性あり)	(人選未定)			
						4	食を中心とした持続可能なまちづくりの推進	NPO法人きずな 理事 (受講者還流枠)	山内 章正			
			16	土	地域創生に向けた 研究シーズ	1	愛媛県の紙産業の課題と紙産業イノベーションセンターの取組	愛媛大学 紙産業イノベーションセンター長	内村 浩美			
						2	愛媛県の養殖業の課題と南予水産研究センターの取組	愛媛大学 南予水産研究センター 副センター長	後藤 理恵			
						3	文化資源マネジメントと観光まちづくり	愛媛大学 地域共創研究センター 副センター長	井口 梓			
						4	地域包括ケアの推進	愛媛大学 地域協働センター 中予 副センター長	藤村 一美			
			30	土	1	全体最適を目指したスマートなまちづくり	広島大学 先進理工系科学研究科 教授	田中 貴宏				
					2	デジタル技術を活用したスマート農業	広島大学 大学院統合生命科学研究科 教授	三本木 至宏				
					3	美味しさを科学する	広島大学 大学院人間社会科学研究科 准教授	富永 美穂子				
					4	実践的な時間健康科学を地域社会に生かす	広島大学 大学院医系科学研究科 准教授	田原 優				
		自らの関心に応じたシンポジウム、スキルアップ講座、市民講座等(12時間を上限とする)									・同期型 ・対面型	

1限目	09:00~10:30
2限目	10:50~12:20
3限目	13:30~15:00
4限目	15:20~16:50